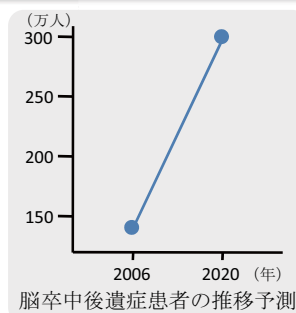


「快快」脳実験の背景

脳卒中は現在日本の死亡原因の第3位で年間約13万人の尊い命が失われています。さらに脳卒中は命をとりとめても多くの人がその後、重い後遺症に生涯苦しめられて生き続けなくてはなりません。この数は147万人と推定され、2020年には300万人にもなるとの報告もあります。

自然治癒力活性医学研究所では、これまでマウスピース整体名人「快快」を多くの病気の後遺症で悩む患者様にご提供してきました。これらの体験販売を通して、とても感動した場面に出会うことも多くありました。それは高齢者や脳卒中の後遺症の為、車椅子に乗ったり、杖について歩いている人達が、整体名人「快快」を装着した直後に車椅子から降りて歩きだしたり杖をつかずに歩けるようになるなど、驚くような出来事でした。

そこで今回、整体名人「快快」が脳にどのような影響を与えているかを科学的に検証するため、酸素脳イメージングとして知られるCOEにより、快快装着時に脳がどのように酸素を使っているのかを調べました。



酸素脳イメージングとは？

酸素脳イメージング-COE-とは、頭皮上から安全な光を当てただけで、脳がどのように酸素を使ったのかを計測する最先端技術です。

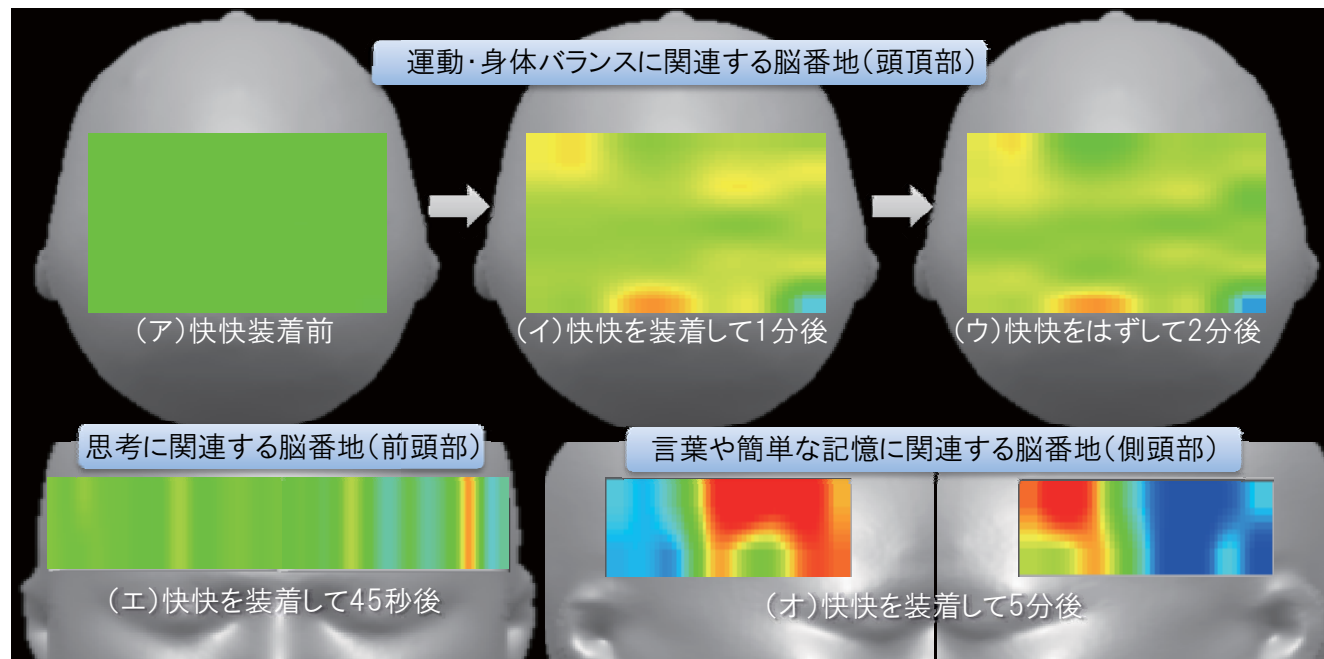
血中の酸化/脱酸化ヘモグロビンに反射した光を検出することで、脳内の酸素供給や3酸素消費の状態を知ることができます。

快快を装着したときに、脳の酸素状態がどのように変わるのかを実験することで、脳に与える影響を科学的に検証することができます。



～快快を装着するだけで、脳に新しい酸素が供給されます～

快快を1分間装着しただけで、運動系脳番地や頭頂領域を含む広範囲で高酸素化し、未使用のきれいな血が脳をめぐるようになりました(図イ)。そして快快をはずした後も、高酸素効果が持続したことがわかります(図ウ)。運動系脳番地は体中の筋肉や体の動きを司り、頭頂領域は体のバランスをコントロールする脳部位です。つまり快快は、体の動きやバランスを司る脳番地にはたらきかけ、脳のリラックスを助けます。また前頭葉や側頭葉にも同様の作用があることがわかりました(図エオ)。



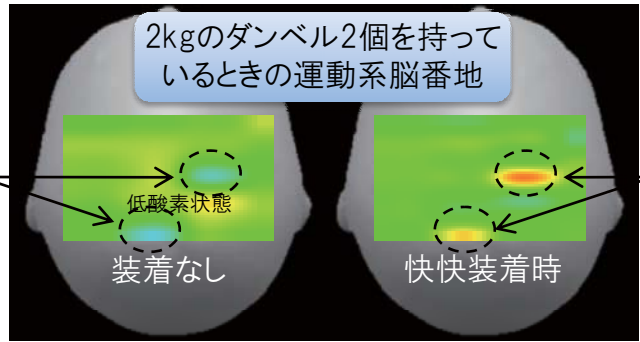
快快は、脳の広範囲に酸素状態を変えるはたらきをすることが科学的に明らかとなりました。快快をたった1分間装着するだけで、まるで脳をマッサージしたように、血のめぐりが良くなりました。使用済みの血液を押し出すようなこの作用は、新しい酸素が運び込まれることで脳の神経細胞が働きやすい酸素状況を脳内に作り出していることが期待できます。

快快は
脳の酸素状態を変え、
脳にかかる負荷を軽減。
筋緊張を和らげ、
リラックスした脳状態に。
(効果の感じ方には個人差があります)

～脳の負荷を軽減し、重いものでも持ちやすく～

快快を装着して2kgのダンベルを両手で持つと、装着していない時に比べて、脳が楽な状態で働いていることが分かります。辛い運動をすると、脳は酸素が必要になって低酸素になります。快快を装着することで、新鮮な酸素が血液といっしょに供給され低酸素が緩和されます。つまり、**酸素をあまり使わないで楽に運動ができる上に、脳の疲労回復が早いことが期待できる**のです。

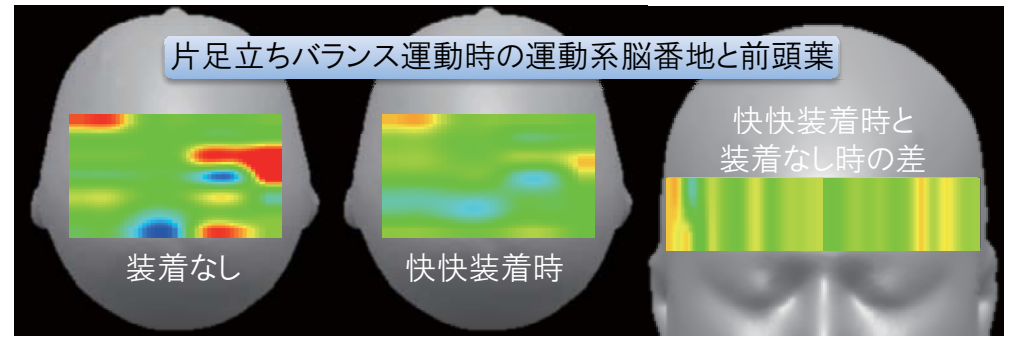
脳が働くと、丸で示したように酸素が減って低酸素状態になります。酸素がないと神経細胞は働くことができないので、この状態が長く続くと、筋肉以上に脳が疲労することになります。



同じ重さの荷物を持って、酸素が集められて、細胞が働きやすい状態が準備されています。これは軽いものを持っている時の脳の状態に似ています。

～体のバランスや姿勢が楽に保てます～

快快を装着して片足立ちをしてみると、脳に対する酸素負荷が減るという結果が得られました。100の酸素が必要な運動でも、10の酸素でまかなえるということです。私たちは激しい運動をして酸素が必要になると息切れしますが、**脳の酸素負荷が減るということは、脳が息切れしないで余力がある**ということです。前頭葉でも快快を装着することで、より心地よい状態が認められました。

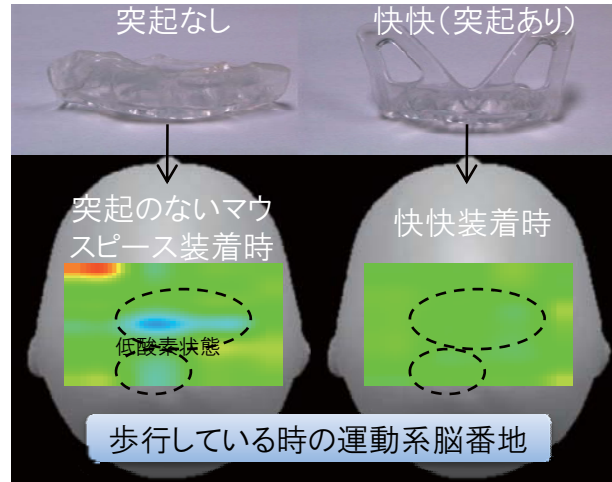


～体が動きやすくなり、省エネ歩行が可能に～

快快は、天迎香というツボをソフトに押すための左右2本の突起が特徴的なマウスピースです。突起のない通常のマウスピースでも、快快と同じ効果が得られるのかどうか、歩行を例にとって実験してみました。



その結果、通常のマウスピースでは、図中の丸で囲まれた青色部分のように低酸素を示しました。これは通常突起なしマウスピースでは、歩行によって脳が低酸素状態に陥っており、脳の酸素負荷を軽減する反応は認められないことを示しています。しかし快快を装着していると、低酸素を示す青色の部分が現れませんでした。つまり、マウスピースを噛むことではなく、**快快がツボを刺激していることが、脳の低酸素ストレスの軽減を助けている**のです。つまり快快によって、省エネで身体を動かすことができます。



整体名人「快快」は、脳機能リハビリ装具として効果が大きく期待できます。

今回の快快の科学的検証によって、快快がもたらす脳への生理的作用と、その結果から考えられる身体作用が明らかになりました。**脳への生理的作用として、快快装着が脳の酸素状態をサポート**することは明らかです。また装着しながら身体を動かした場合には、運動系脳番地の酸素負荷を軽減していることが分かりました。

- 結果から考えられる効果
- 身体が動きやすくなる
 - 重い物が持ちやすくなる
 - 痛みや疲労を感じにくい等

整体名人快快の治療のポイントを発見したきっかけは、自分が花粉症になったことでした。治す方法を探している時にこの天迎香のポイントを発見しました。はじめは押すことを患者さん達に勧めていた時点でかえって花粉症の症状が悪化した人が多く出ました。その原因を探ったところ、片方から押すことによって、顔面骨の歪みが強く起ってしまうことでした。そこで誰でも正確に、安全に押せるように開発したのが整体名人快快です。当初は花粉症対策に考案されたものですが、装着ポイントにツボ押しのようにある程度の力を加えた押し方で花粉症が改善しました。さらに研究を重ねもつソフトに当たるようにしたところ、鼻炎だけでなく身体全体に影響を与えることを発見しました。装着の仕方だけで大きく脳は影響を受けます。それ程微妙に影響しますので、適度な圧と適正な時間を守ることで大きく改善できます。長く装着し続けると刺激オーバーで効果も少なくなります。(快快開発者: 萩原秀紀)

